

ベンチオカーブ・ペンディメタリン・リニュロン乳剤 クリアターン乳剤	取扱メーカー： クミカ 原体メーカー： クミカ、BASF、TKI
成分： ベンチオカーブ〔カーバメート系 PRTR・1種〕…50.0% ペンディメタリン〔ジニトロアニリン系 PRTR・1種〕…5.0% リニュロン〔尿素系 PRTR・1種〕……………7.5% その他 PRTR 該当成分： キシレン〔PRTR・1種〕……………8.7%〈8.2～9.1%〉 エチルベンゼン〔PRTR・1種〕……………15%〈15～16%〉	性状： 黄赤色澄明可乳化油状液体 毒性： 普通物 消防法： 第4類・第2石油類（非水溶性）・危険等級III

【品目特性】……………

- クリアターン細粒剤Fの項参照。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 雑草の発生前に使用する。
- 散布は土壌表面に所定の希釈液を均一にムラなく散布する。土壌が極端に乾燥している場合は効果が劣ることがあるので、希釈水量を多めにする。
- 砕土、整地、覆土は丁寧に行い、覆土深は必ず2～3cmとし、軽く鎮圧した後に散布する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 散布器具は使用後十分水で洗う。
- 適用作物（だいず、えだまめ、とうもろこし、小麦）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（隣接作物）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 土壌が極端に乾燥している場合は効果が劣ることがあるので、希釈水量を多めにする。

●だいず、えだまめ、とうもろこし、にんじんのマルチ栽培では薬害を生じるおそれがあるので使用しない。

●だいず、えだまめの定植前に使用する場合、薬害を生じるおそれがあるので、覆土時に処理された土壌が根に接触しないように注意する。

●作物の生育期に散布すると薬害があるので使用しない。

【安全対策上の注意】……………

- 衣類、自動車や壁などの塗装面に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないように注意する。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 藻類に影響を及ぼすので、使用時は注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用方法】

作物名	適用 雑草名	適用 土壌	使用時期	10 a 当り使用量		使用方法	適用 地帯	本剤の 使用回数	リニクロンを含む 農薬の総使用回数	
				薬量	希釈水量					
だ い ず え だ ま め	一年生 雑草	全土壌 (砂土を 除く)	は種直後 (雑草発生前)	500～ 800 <i>ml</i>	70～ 100 <i>ℓ</i>	全面土 壌散布	全域	1 回 ※	2 回以内 (全面土壌散 布は 1 回以 内、雑草茎葉 兼土壌散布 は 1 回以内)	
			定植3日前まで (雑草発生前)	500～ 700 <i>ml</i>						
小 麦			は種直後 (雑草発生前)	400～ 600 <i>ml</i>			北海道		北海道を除く 全域	1 回
大 麦				500～ 700 <i>ml</i>						
とうもろこし 飼料用とうもろこし				500～ 800 <i>ml</i>						
ばれいしょ			植付後～萌芽前 (雑草発生前)	600～ 800 <i>ml</i>						
に ん じ ん			は種直後 (雑草発生前)	500～ 700 <i>ml</i>	全域		2 回以内 (は種直後は 1 回以内、 にんじん 3 ～ 5 葉期は 1 回以内)			
ら っ か せ い							1 回			

※ベンチオカブを含む農薬の総使用回数：1 回
※ペンディメタリンを含む農薬の総使用回数：1 回